

24 多剤耐性緑膿菌(MDRP)による院内感染症発生患者数

▶ 項目の解説

多剤耐性緑膿菌(MDRP)は一般家庭でも見られる毒素の弱い菌ですが、抵抗力が低下した患者に感染すると、重症肺炎など重篤な感染症を引き起こし死亡する場合があります。

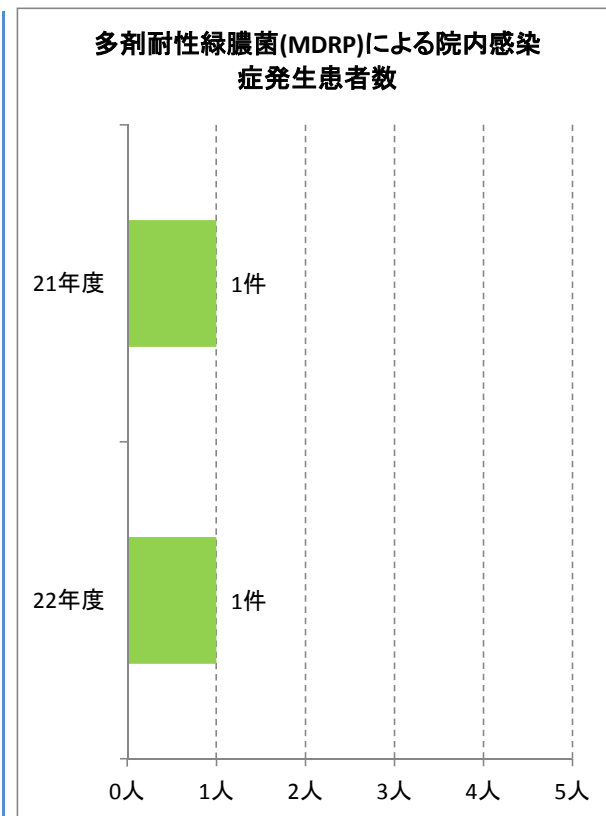
院内感染症は適切な介入により、かなりの程度で発症頻度を減じることが可能です。安全で良質な医療を提供する環境として、十分な感染対策を行っている点を評価します。

本指標は、MDRPの検査の取り組み方によって数値が左右されるため、病院間の比較は困難です。

▶ 定義

期間中の新規MDRP発症患者数。

保菌者による持ち込み感染は除きます。入院三日目以降に発生したものとします。



25 CPC(臨床病理検討会)の検討症例率

▶ 項目の解説

CPC(臨床病理検討会)とは臨床医・病理医・検査担当医などが、診断や診療のプロセスの妥当性を討論する症例検討会であり、一般的には剖検(病理解剖)が行われた症例を対象とします。診療行為を見直し、今後の治療に役立つ取り組みを評価する指標です。医学生、研修生の教育にも大いに寄与するものです。

▶ 定義

1年間のCPC(臨床病理検討会)の件数を死亡患者数で除した割合で、自院での死亡退院を対象とします。

学外で病理解剖が行われた症例について、病理解剖を担当した医師を招いて実施した症例は検討症例数に含めません。

